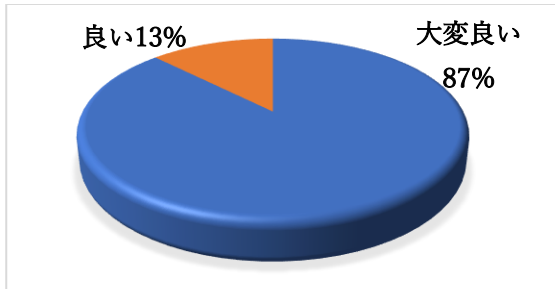
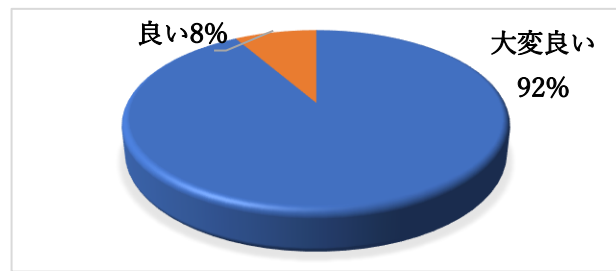


「ハラスメント相談担当者講座(応用コース)2019年11月3日」の評価・感想

■講座全体についての評価



■布柴教授によるレクチャーについての評価



■講座全体についての感想(自由回答)

- ◆ 講義の内容が具体的で分かりやすくしかも要点が明確で勉強になりました
- ◆ パワハラについては初めてだったのですが良かったです。疲れしました。
- ◆ 分かりやすくロールプレイもできて、学びが多い
- ◆ 東京まで来ての研修でしたが、有意義で実生活に役立つロールプレイに感謝します。
- ◆ ハラスメントの事例のロールプレイ参考になります。
- ◆ 盛り沢山でしたので、満足感が高く、一方で消化不良のところもあります。(復習します)ワークの時間も多く、難しさを十分感じました。
- ◆ 具体的な例を使ったりしていてわかりやすかった
- ◆ 具体的なでわかりやすかった
- ◆ 事例に基づくロールプレイが大変勉強になりました。もう少し事例を体験したかった。

■布柴教授によるレクチャーについての感想(自由回答)

- ◆ ロールプレイが充実した研修で、受講したかいがありました。
- ◆ 分かりやすく、相談の受け方について学べたという実感がありました
- ◆ 講義をしながらなので、声が和らかく聞きやすく、あっという間の時間でした。
- ◆ 中小企業に、研修にぜひ参加するよう紹介していきたいと思います。布柴教授のレクチャーで大いに変革の必要性を考える男性経営者が増えることを期待します
- ◆ とても分かりやすい研修でした。
- ◆ 話が大変分かりやすく、演技・事例が豊富でイメージがしやすかったです。
- ◆ 説明がシンプルでとてもわかり安だけでなく、同じ目線で話しかけてくれるので話を受け入れやすいと感じた。
- ◆ 対人援助者として愛にあふれている
- ◆ 素晴らしかったです
- ◆ 聞いていて心地よいお声ですので、頭にしっかり入りました。
- ◆ ご経験に基づく豊富なエピソードと、平明で円滑で平易な表現による説明で、とても理解が進みました。受講生の持ちあわせた状況への行き届いたフォローは学ぶべき点が多く、有意義でした。

■講義で何か印象に残った言葉や事項はありましたか?(自由回答)

- ◆ どのようなどのようなアンコンシャスバイアスを持っているか?それが生き方を苦しめるディスコースとなっている。
- ◆ 行為者インタビューの難しさを体験しました
- ◆ アンコンシャスバイアスに気づく」自分に対しても相談者に対しても意識を向けていきたい。

- ◆ 行為者面接はとても難しいですが、とても必要なことだと思っています。
- ◆ 無意識の偏見、私たちは違和感を排除しようとする。
- ◆ 行為者の処分（懲戒処分等）の後のケアについて、加害者の個別研修を外部に委託する例があるので取り入れるべきと考えた。
- ◆ コンシャスバイアスもある。魚が左向きなのは図鑑がそうになっているから。←なるほど！
- ◆ 個人を変えるのではなく、システムを変えるのがハラスメントの解消になっていくという発想に刺激されました。
- ◆ いまも女性に対するハラスメントは残るしパワハラもセクハラもどきが多いことを知りました
- ◆ ハラスメントの行為者面接の中で、様々な印象に残る言葉がありました。
- ◆ 全て何うこと。
- ◆ 自分の気持ちを裏切らない。
- ◆ “ふつう”や“皆知っている”など、特にマジメな日本人が自分が被害者だとしても自責の念に駆られやすくなる要素が生活の中にたくさんあるということ。
- ◆ 悩みを受容する為には、自分の気持ちに向き合うこと。カウンセリングに来られる人は自分の問題・弱さに向き合える人。人は自分を責めているときは変わらない。
- ◆ 人格は決して否定しない
- ◆ 「真のニーズ」「思い込み」
- ◆ 非言語コミュニケーションのポイントやアンコンシャスバイアスなど、専門用語をふまえながら教えていただき、とても勉強になりました。
- ◆ No と言えない人を見つけて target にする。つらい経験が変わる契機。自分自身の気持ちに気づくと、他人（ひと）の気持ちが理解できる。自分を責めている間（自責の念）は、変わらない。

■講座へ参加する前と後で、何か気持ちに変化はありましたか？

- ◆ 関係調整の難しさと大切さ。自分のコミュニケーションの癖を見直したいと思いました。
- ◆ BPW に興味を持ちました。
- ◆ 更に学びたい気持ちが強くなりました。
- ◆ 自分のスタンスをはっきり持つこと。
- ◆ 対応の仕方が具体的にわかったので、職場で伝えます。
- ◆ BPW という組織のすばらしさを再認識しました。たくさんの仲間と有意義な時間を共有できました。
- ◆ とても前向きになりました。
- ◆ ロールプレイがあることで、対応へ配慮すべき点に、より多く気づけた。
- ◆ アンコンシャスバイアスに気づく。当たり前を疑う。どちらも楽しいことでもあるので元気が出ました。
- ◆ 事例検討やロールプレイの後に特に思ったのが、被害者と行為者どちらの言動も、背景にある心情や思考回路を聞いてあげる大切さがある。
- ◆ ハラスメント予防の重要性を受講後はより感じました。実習・ロールプレイで自分の改善すべき点がよくわかり、重ねて研修を続けたいと思います。
- ◆ 態度を学べた。
- ◆ ロールプレイがの前後で、力の入り具合が変わりました。力み・いきみ⇒穏やか
- ◆ 研修後気持ちの変化がとてもありました。すごく勉強になりました。
- ◆ 自分がやってきたことが、案外的はずれでなかったことを確認できてとてもありがたかった。

■講師へのメッセージや、アドバンス講座に期待することなど

- ◆ たくさんの学びをありがとうございました。
- ◆ 今日は価値ある講座をありがとうございました。
- ◆ 傷つきたくなくて、知らないふりをしてきたこと多かったなど、それが自分を傷つけていたものを助長していたと思いました。
- ◆ 実習ができて実力ある人たちとロールプレイができて、良い時間になりました。ありがとうございます。
- ◆ 中小企業が抱える課題は山積しています。次世代継承の時期を迎える企業も多く、若い経営者に、ダイバーシティ、ハラスメントの課題を提起させていただきたいと思います。
- ◆ お世話になり、ありがとうございました。
- ◆ 継続してください。
- ◆ 家族支援を進めていくために、SDGsの取り組みの中で、どのように位置づけて推進すべきか。方針や方向性、具体的な取り組み事例（各主体ごと）について、解説や紹介していただくと、個人やグループで進めることができると思います。
- ◆ 非常に考えさせられる内容でした。ありがとうございました。実践に役立てながら“あなたは悪くないよ”としっかり伝えていきたいと思います。
- ◆ また少し smart な人間になれました、ありがとうございました。
- ◆ とてもわかりやすい講義をありがとうございました。一つ一つ腑に落ちて納得できるものでした。お疲れ様でした。
- ◆ ロールプレイができなくても、事例をもっと頂きたい。
- ◆ ロールプレイ トレーニングが別途欲しいなと思いました。
- ◆ SDGs 講座の田瀬さんの講演会を楽しみにしています。
- ◆ 豊富な布柴先生のご経験を単行本化して下さい。見開き1ページで「こんな人のカウンセリング」事例を50-100出して、読み易く為になり、「いるいるこんな人」「あるあるこんな人」と思える修飾を施して、一気に読ませるようなものができたら・・と思います。